推 薦 図 書

学　科：　看護学部	氏　名：　武藤 雅子
書　名：　問いかける技術　確かな人間関係と優れた組織をつくる	
著者・訳者：　エドガー・H・シャイン著　原賀真紀子訳	
出　版　：　英治出版　2014	

〈推　薦　文〉

「人間関係を築くのも、問題を解決するのも、すべては適切な質問があってこそうまくいく。」表紙をめくると先ずその言葉が目に入る。「問いかける」という行為こそが良好なコミュニケーションの鍵であるということだ。「問いかける」という行為は、相手に対して興味や好奇心を抱くという態度から導かれるものであり、そこにはもっと素直に語り合えるような関係を築きたいと願う気持が含まれていると述べている。そして、そのように問いかけることを Schein は「謙虚に問いかける」と名付けている。

本書では、様々な実例を示して、「謙虚に問いかける」ことについての実践を示してあり、日常の些細な場面から実践を知ることができる。また、他の問いかけとの違いを示し、理解を深めることができる。日本人特有の察する文化も薄れるこの時代に、米国の文化である「自分が動き、自分が話す文化」それほど違和感のない考え方のように感じる。

看護に置き換えて考えると患者さんが辛そうにしている、悲しい顔をしていると客観的に観察出来たとしてもそれは問いかけてみないと何故そのようになっているのかわからないことが多い。医療・福祉の世界で社会人になろうとする学生は是非一読して、「謙虚に問いかける」ことについて理解を深めて欲しい。